

おわりに

子供が小さい頃はこまめに子育てにかかわってきた父親も、中学生くらいになると母親任せになる人が増えてくる。

仕事の忙しさもあって、だんだん子供との会話が少なくなり、高校生ともなれば何を考えているかわからない状態に。

あわてて子供と話をはじめても、なんだかとらえどころがなく、まるで異星人と話しているようだという。

「むかしはおむつを替えてやったのに……」

「一緒にお風呂に入ってたのに……」

なんてことにならないよう、初心を忘れず、子供といい関係を保っていきたい。

このハンドブックは、医師、保健師、心理指導職員、保育園職員などで構成する「父親ハンドブック編集委員会」で編集したものに、改訂を加えたものです。

■参考資料

- 東京都福祉保健局：「あたらしい生命のために」(2004)／「育児のためのテキストブック」(1999)
「赤ちゃんの生命を守るために」(1999)／「乳幼児の事故防止教育ハンドブック」(2008)
- 東京都生活文化局：「子どもの命を守るために必要です。チャイルドシート」(1999)
「くらしイキイキ ちいさな消費者」(1993)
- 財団法人母子衛生研究会：「赤ちゃん そのしあわせのために」 「母子保健テキスト」
- 汐見稔幸 長坂典子 山崎喜比古：「父子手帖」 大月書店 (1994)
- 新澤誠治：「私の園は子育てセンター」 小学館 (1995)
- JAF メイト社：JAF ユーザーテスト118